

新たな入院医療体制の構築

第5波の最大の新規陽性者数、療養者数、入院者数（含む入院調整）を前提に、
今夏の2割増の入院患者に対応するとともに、
自宅療養者等の今夏の2割減を目標として、



全医療機関にさらなる病床確保を要請し、宿泊療養施設と協議した結果、
新たに病床**60床**、宿泊医療施設**400室（2施設）**を確保

区分	病床		宿泊療養施設	
	目標	確保	目標	確保
現計画	1,200床程度	1,357床	1,500床程度	2,011室 (14施設)
新計画	1,400床程度	1,417床	2,400床程度	2,411室 (16施設)

フェーズに応じた入院医療体制への変更

フェーズの切替にあたっての判断基準を

「新規感染者数（1週間平均）」に「**病床利用率**」も加味することへ変更

（国の「新たなレベル分類の考え方」では、医療逼迫の状況により重点を置く）

フェーズ		①	②	③感染拡大期 1	④感染拡大期 2	⑤感染拡大特別期	
フェーズ切替の契機	病床利用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上	総合的に判断 (800人以上)	
	新規感染者週平均 [週患者数/人口10万人]	20人未満 [2.5人未満]	20人以上 [2.5人以上]	80人以上 [10人以上]	400人以上 [50人以上]		
体制	構築の考え方		20人の新規感染者に対応	80人の新規感染者に対応	400人の新規感染者に対応	800人の新規感染者に対応	
	病床	病床数	300床程度	600床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度～
		うち重症	30床程度	60床程度	100床程度	120床程度	140床程度～
宿泊	室数	300室程度	1,000室程度	1,500室程度	2,000室程度	2,400室程度～	

※ フェーズの切替は、病床利用率、新規感染者数のいずれかが次フェーズの区分に達した時点で検討